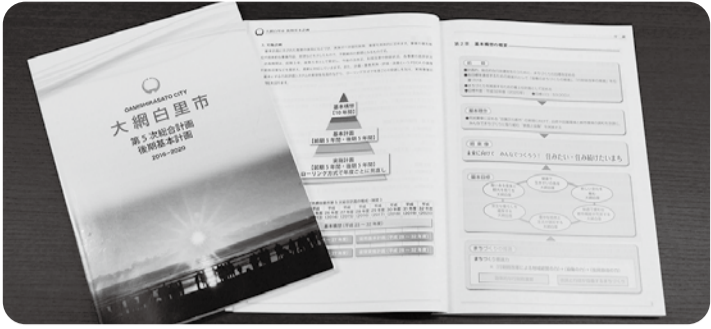


▼現行の総合計画



市では、令和3年度を初年度とする次期総合計画の策定に向け、準備を進めています。次期総合計画の基礎資料とするため、昨年、市民アンケートを実施し、アンケート結果がまとまりましたので、広報1月号と2月号にわけて概要をお知らせします。

なお、この市民アンケートの結果と、併せて実施した中高生アンケートの結果を取りまとめた「市民・中高生アンケート調査結果報告書」は、市ホームページや市役所受付行政情報コーナーで閲覧できます。

## ニーズを捉えた総合計画に

### 市民アンケート調査結果

送などをスムーズに行うことができるよう、12月から救急患者等を除き、午後の外来診療の受付終了時間を1時間繰り上げました。これにより、診療業務の効率化と医師・看護師の待遇改善にもつながるものと期待しています。

こうした各種取り組みの結果、上半期収益においては、患者数、入院、外来収益とも昨年度をやや上回っている

状況ですが、収支全体では依然として厳しい状況が続いていることから、引き続き、病床稼働率の向上等に努めながら収益の増加を図り、一層の経営改善に取り組めます。

#### 調査方法

- ▼調査期間 令和元年6月7日～21日
- ▼調査対象 市内在住の満18歳以上の男女3,000人
- ▼抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- ▼調査方法 郵送による調査票の配布・回収
- ▼回収率 35.9% (1,076人)

#### 住みよさ(住みこい)結果

市の「住みよさ」は、「とても住みやすい」、「まあまあ住みやすい」を合わせると64.2%で、平成27年調査より、1.3ポイント高くなっています。

市への「定住意向」は、「ずっと住み続けたい」、「当分は住んでいたい」を合わせると72.3%で、平成27年調査と比較すると2.3ポイント低くなっています。

「市への誇りや愛着」は、「はつきりと持っている」、「漠然と持っている」を合わせると49.2%で、平成27年調査と比較すると0.6ポイント低くなっています。

また、「誇りや愛着を感じるもの」として最も高いポイントを得た項目は、「田園や里山、海などの豊かな自然」

#### 1. 「住みよさ」について

	令和元年 総数：1076	平成27年 総数：1136	平成21年 総数：1240	平成19年 総数：1037
1.とても住みやすい	9.3%	10.7%	8.0%	8.8%
2.まあまあ住みやすい	54.9%	52.2%	20.9%	22.6%
※「住みやすい」(1+2)合計	64.2%	62.9%	28.9%	31.4%
3.やや住みにくい	12.1%	12.0%	26.9%	23.1%
4.とても住みにくい	4.3%	4.3%	4.3%	7.3%
※「住みにくい」(3+4)合計	16.4%	16.3%	31.2%	30.4%
5.どちらともいえない	18.2%	20.2%	37.1%	35.7%
無回答	1.2%	0.7%	2.9%	2.7%

#### 2. 「定住意向」について

	令和元年 総数：1076	平成27年 総数：1136	平成21年 総数：1240	平成19年 総数：1037
1.ずっと住み続けたい	35.7%	39.1%	40.1%	35.7%
2.当分は住んでいたい	36.6%	35.5%	29.9%	30.3%
※「住んでいたい」(1+2)合計	72.3%	74.6%	70.0%	66.0%
3.やがては移りたい	12.2%	11.6%	16.0%	18.4%
4.すぐにでも移りたい	2.0%	1.8%	2.7%	3.7%
※「移りたい」(3+4)合計	14.2%	13.4%	18.7%	22.1%
5.わからない	11.3%	11.1%	8.7%	10.3%
無回答	2.2%	1.0%	2.7%	1.6%

#### 3. 「市への誇りや愛着」について

	令和元年 総数：1076	平成27年 総数：1136	平成21年 総数：1240	平成19年 総数：1037
1.はっきりと持っている	12.4%	12.9%	15.5%	16.6%
2.漠然と持っている	36.8%	36.9%	37.3%	31.4%
※「持っている」(1+2)合計	49.2%	49.8%	52.8%	48.0%
3.ほとんど持っていない	9.9%	10.0%	11.9%	16.1%
4.全く持っていない	3.4%	4.0%	10.2%	13.8%
※「持っていない」(3+4)合計	13.3%	14.0%	22.1%	29.9%
5.どちらともいえない	36.6%	35.7%	22.8%	20.0%
無回答	0.9%	0.5%	2.3%	2.1%

#### 4. 「誇りや愛着を感じるもの」について

	令和元年 総数：529	平成27年 総数：566
田園や里山、海などの豊かな自然	82.8%	76.1%
閑静で落ち着いたまちなみ	46.3%	46.2%
市民同士のふれあい・交流	14.6%	17.9%
まちの歴史(市制施行含む)	3.2%	3.4%
まちで育まれた伝統・文化	5.5%	4.2%
市民の積極的なまちづくりへの意欲	3.4%	3.5%
交通アクセス性の高さ	26.7%	20.0%
割安な地価水準や土地の広さ	12.5%	16.3%
中心市街地の商業施設	3.8%	2.1%
充実した行政サービス	3.0%	2.3%
その他	4.5%	3.0%
不明	1.7%	2.1%

#### 5. 「特に改善してほしいこと」について

	令和元年 総数：1076	平成27年 総数：1136
公共交通の利便性	46.7%	38.9%
買い物など日常生活の商業環境	37.3%	36.2%
医療環境	36.4%	41.4%
介護・福祉面の環境	21.0%	24.1%
出産・子育ての環境	10.8%	10.6%
働く場所などの就業環境	17.6%	18.6%
道路や駅などの都市環境	39.1%	42.1%
生きがいづくりなどの場や機会	8.0%	9.4%
自然環境	6.0%	7.3%
教育環境	4.6%	4.0%
行政サービスの水準	17.7%	14.8%
その他	7.0%	5.1%
不明	2.0%	1.8%

(82.8%)で、「特に改善してほしいこと」として最も高いポイントを得た項目は「公共交通の利便性」(46.7%)という結果となっています。

2月号では、市の施策に対する満足度や重要度、市がこれから優先・重要視すべき施策などについての調査結果をお知らせします。

企画政策課政策推進班  
☎0475(70)0315

市長との

## ふれあいミーティングを開催



市では、市民や各種公益団体、事業者等、幅広い分野に携わる多くの方々と自由な意見交換を行うことで「未来に向けてみんなでつくりたい・住みたい・住み続けたいまち」に向けた今後の市政運営への参考とするため、ふれあいミーティングを開催しています。

15回目となる今回は、移住して市内でいちご農家(ちあきのいちご園)を営む相田隆志さん・千晶さんご夫婦にお話を伺いました。

※「相田さん」以下「相田」

**市長** 相田さんは移住して農業を始めたとお伺いしましたがきっかけは何ですか。

**相田** 以前はサラリーマンをしていたのですが、持病があり体が弱い妻と一緒に働ける仕事は何かないかと考えていました。妻はいちごが大好きで、たまたま山武市にいちご狩りに来たときに、その園主にとってもよくしていただきました。何回か通う中で、観光いちご農園がいいかなと漠然と思ったのがきっかけです。

**市長** 就農してみて、どんなことが大変でしたか。

**相田** ハウス用のトラクターを買ったのはいいものの動かし方が分からなかったり、何もなかったところに、井戸掘りをし、排水路を整備したり、農業ができるようになるまで大変でした。

でも、壁にぶつかったとき、地元の農家の方をはじめ、近隣のいちご農家の方など、助けてくださる方がたくさんいたので、何とか開園することができました。

**市長** そうした苦勞を乗り越えて、やりがいを感じることは何ですか。

**相田** 開園するとき、いちごはできましたがお客さんが来てくれるという保証はない状況でした。でも、開園して30分ほどで売り切れたんです。このときは、涙が出るくらいうれしかったです。

中には、私たちが夏に作業しているのを見ていて買いに来てくださった方もいて、見ていてくださる方はいるんだな、と苦勞が報われた思いでした。

昨シーズンは、忙しくて自分の時間は作れなかったのですが、人生で一番充実した一年でしたね。

**市長** ちあきのいちご園の魅力は何ですか。

**相田** 私は馬が好きで、観光いちご園を始めたなら、飼いたいと思っていました。今、ミニチュアホースを飼ってシーズン中は園

にいるのですが、ただいちご狩りをして帰るのではなく、楽しかった思い出として残してもらいたいと思っています。

ミニチュアホースと写真撮影をさせていただいたり、ハウスの中に広い休憩所を置いたり、いちご狩りに制限時間を設けなかったりと、小さいお子さん連れの方にもゆっくり食べていただけるようにしています。

**市長** 今後目標にしていることはありますか。

**相田** 本市には、真紅の美鈴という大変ブランド力のあるいちごがあります。真紅の美鈴のいちご狩りも始めましたので、県外からお客さんを呼び込んで、大網白里市を盛り上げたいです。

私は会社員を経験したので、お客さん目線で何を求めるかは分かりやすいかもしれません。私にしかできないいちご園を作っていきたいと思っています。

**市長** 就農を考えている人や、大網白里市で農業をやりたいと思っている人にメッセージをお願いします。

**相田** 農業の担い手不足は現状としてあります。でも、そういう状況だからこそ、チャンスがあると思います。新規就農を目指す方に伝えたいのは、ただ作物を作り、市場に出荷するのでは今までと同じだということです。何か付加価値を付けたりしないと、この先活路を見いだすのは難しいと思います。

ただ、農業を始めるとなったら、間違いなく協力してくれる人はいる。私は就農してよかったと思います。ぜひ就農を考えている人は、聞きに来てください。

**市長** 就農を迷っている人もいます。相田さんは、すばらしい応援を受けられたので、ぜひそれを次に伝えていただけたらと思います。